

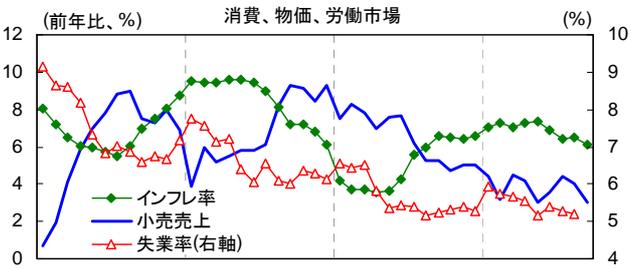
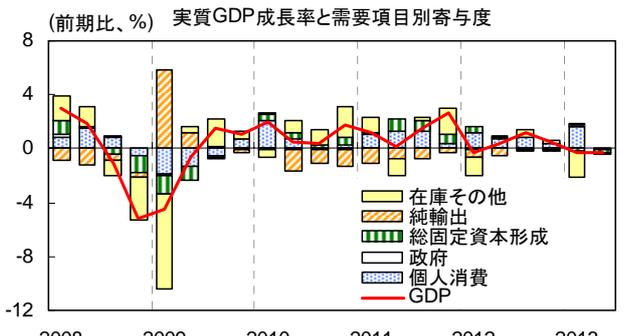
ロシア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Russia)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.muftg.jp)

概況	消費、労働市場
<p>ロシア経済は低迷が続いている。第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前期比▲0.3%と、前期に続きマイナス成長を記録した。昨年 9 月の中銀の利上げを映じた貸出金利の上昇や、金融機関の貸出基準厳格化に伴う融資の伸び鈍化等で企業の投資手控えが続いていることに加え、新興国の景気減速による資源需要の鈍化や原油価格の軟調も下押し要因となったと考えられる。また、景気を底支えしていた個人消費も減速し、内需は全体的に弱含みとなっている。</p> <p>第 3 四半期以降の動きとしては、鉱工業生産の低迷が続いているほか、製造業 PMI も拡大と縮小の分岐点である 50 を下回るなど、生産回復の兆しは見えてきていない。企業向け銀行貸出については、伸びの鈍化に歯止めがかかりつつあるが、内需の減速を鑑みると、企業投資の回復には今しばらく時間を要すると考えられる。個人消費については、今後もインフレ率の低下が見込まれていることは明らかな材料といえる。ただし、家計向け貸出の伸びは鈍化傾向が続いているほか、雇用環境にも軟化の兆しが見え始めている。景気の先行き懸念の高まりで消費者信頼感も低下しており、個人消費はさらに減速する可能性も考えられる。</p>	<p>9 月の小売売上は前年比+3.0%となり、前月の同+4.0%から伸びが鈍化した。雇用環境についても軟調さが増している。8 月の失業率(未季調値)は前年同月と同じ 5.2%となったが、雇用者数は、5 月以降 4 ヶ月連続で前年水準を下回っている。購買担当者指数(PMI)においては、サービス業・製造業ともに雇用の減少傾向が示されており、雇用環境は今後悪化する可能性が高いと考えられる。第 3 四半期の消費者信頼感指数をみると、景気の先行き不安の高まりや根強いインフレ懸念を反映し、前月から 1 ポイント低下の▲7.0となった。</p>  <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
GDP	物価、政策金利
<p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前期比▲0.3%となり、前期の同▲0.2%から 2 四半期連続でのマイナス成長となった。需要項目別にみると、個人消費については、前期が同+3.1%と高めの伸びであったことからの反動もあろうが、前期比横ばいに止まった。総固定資本形成は同▲1.2%と、4 四半期連続でマイナスの伸びを示した。純輸出の寄与度は、輸入の減速もあり、同+0.1%ポイントとプラス圏で推移した。年前半の景気落ち込みを受け、ロシア政府は 2013 年の成長率見通しを従来の前年比+2.4%から同+1.8%に下方修正した。</p>  <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>9 月の消費者物価指数は、前年比+6.1%と、前月の同+6.5%から低下し、ロシア中央銀行(以下、中銀)のインフレ目標レンジ(5~6%)の上限に近付いた。天候不良を背景とする、昨年後半以降の食料品価格高騰が一服したことが主因である。一方、景気下支えのため、政府や企業からは中銀に対して金融緩和を求める声が高い。しかし、10 月 14 日に開かれた金融政策委員会では、中期的に経済成長は弱い状況が続くとの見通しが示されたものの、インフレ率が中銀の目標レンジを依然上回っていることから、政策金利(リファイナンス金利)は 8.25%に据え置かれた。ただし、中銀では食料品価格高騰の影響剥落や需要サイドからの物価押し上げ圧力が弱いことなどから、インフレ率は年内には目標枠内に収まると予想しており、早ければ年内にも金融緩和に乗り出すとの観測も出てきている。また、2014 年については、年初に予定されている電力・ガス等の価格上昇を抑制する措置を政府が発表しており、物価上昇圧力はある程度抑えられよう。9 月に発表された中銀の中期インフレ目標レンジは、2014 年は 4.5~5.5%、2015 年は 4~5%、2016 年は 3.5~4.5%となっている。</p>
生産	外貨準備
<p>9 月の鉱工業生産は前年比+0.3%と、前月の同+0.1%からは若干上向いたものの、低迷が続いている。9 月の製造業の購買担当者指数(PMI)は、前月と変わらず 49.4 となり、拡大・縮小の分岐点である 50 を 3 ヶ月連続で下回った。内訳をみると、海外からの受注が 5 ヶ月ぶりに減少に転じたことや内需減速を背景に、新規受注全体の伸びが僅かなものに止まっており、生産の低迷は今しばらく続くことが予想される。</p>	<p>5 月に米 FRB が量的緩和の縮小に言及して以降、ロシアルーブルも他の新興国通貨同様、下落してきた。下落幅はブラジルやインド程ではなかったものの、8 月末までに対ドルで 6.9%、対ユーロでは 8.1%下げた。ロシア中央銀行は 6 月から 8 月末までに総額 137.9 億ドル規模の通貨介入を実施、外貨準備高は年初以降最低水準となる 4,642.0 億ドルまで目減りした。しかし、9 月は米 FRB が市場予想に反して金融緩和の規模縮小を見送り、ルーブル売り圧力が若干弱まったため、中銀の介入は減少し、同月末の外貨準備高は 4,794.5 億ドルに増加した。</p>

## ロシア経済・金融概況

### 1. 年、四半期

	2010	2011	2012	12/Q3	12/Q4	13/Q1	13/Q2	13/Q3
名目GDP実額 (10億米ドル)	1,524.5	1,898.3	2,014.7	511.4	561.0	492.7	509.0	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	4.5	4.3	3.6	3.0	2.1	1.6	1.2	-
(民間消費支出) (y/y, %)	5.5	6.3	6.9	5.6	5.8	6.1	5.4	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	4.6	9.0	7.8	4.7	1.4	0.1	▲ 2.5	-
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	8.3	4.8	2.7	2.5	1.7	▲ 0.1	0.3	▲ 0.1
小売売上(実質) (y/y, %)	6.2	6.9	6.5	5.6	4.9	4.0	3.6	3.8
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	13.0	28.1	19.6	22.1	19.6	21.0	18.6	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	6.9	8.5	5.1	6.0	6.5	7.1	7.2	6.4
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	12.8	11.7	13.3	11.8	12.4	12.1	13.9	-
失業率 (%)	7.5	6.6	5.7	5.3	5.3	5.8	5.4	-
貿易収支 (百万米ドル)	146,995	196,853	192,298	38,490	45,461	48,310	42,462	-
輸出額 (百万米ドル)	392,674	515,408	528,006	125,500	140,067	125,222	127,412	-
輸出伸び率 (y/y, %)	32.1	31.3	2.4	▲ 2.2	▲ 1.3	▲ 4.6	▲ 2.9	-
輸入額 (百万米ドル)	245,679	318,555	335,708	87,010	94,606	76,912	84,950	-
輸入伸び率 (y/y, %)	33.6	29.7	5.4	4.7	7.0	6.5	3.7	-
経常収支 (百万米ドル)	67,452	97,274	71,431	5,872	10,035	25,026	3,412	1,100
資本収支 (百万米ドル)	▲ 21,565	▲ 76,013	▲ 31,204	▲ 4,255	91	▲ 13,120	▲ 9,232	▲ 3,000
対内直接投資 (百万米ドル)	43,167	55,083	50,661	16,578	16,859	39,364	16,603	-
外貨準備高 (百万米ドル)	443,591	453,952	486,578	476,380	486,578	477,267	475,224	479,451
対外債務残高 (百万米ドル)	488,940	538,871	636,435	598,917	636,435	690,261	706,147	719,600
株価指数 (MICEX index)	1,435	1,606	1,453	1,442	1,442	1,500	1,369	1,404
短期金利 (Interbank 3m)	5.61	5.33	7.34	7.44	7.57	7.37	7.40	7.27
Rouble/USD	30.38	29.39	31.07	31.97	31.08	30.42	31.65	32.77
Rouble/Euro	40.27	40.88	39.92	39.98	40.31	40.15	41.31	43.44
Rouble/GBP	46.95	47.11	49.24	50.49	49.92	47.23	48.61	50.85
原油価格(ウラル) (USD/バレル)	78.1	109.6	110.8	109.4	109.4	111.3	102.4	-

### 2. 月次

	13/02	3	4	5	6	7	8	9
鉱工業生産(実質) (y/y, %)	▲ 2.1	2.6	2.3	▲ 1.4	0.1	▲ 0.7	0.1	0.3
小売売上(実質) (y/y, %)	3.2	4.5	4.2	3.0	3.6	4.4	4.0	3.0
銀行貸出伸び率(民間部門) (y/y, %)	21.9	21.0	20.1	18.4	18.6	19.0	-	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	7.3	7.0	7.2	7.4	6.9	6.5	6.5	6.1
平均賃金上昇率(名目) (y/y, %)	10.8	12.6	16.4	12.7	12.7	13.3	12.8	-
失業率 (%)	5.8	5.7	5.6	5.2	5.4	5.3	5.2	-
貿易収支 (百万米ドル)	15,326	15,774	14,267	14,611	13,584	13,311	13,798	-
輸出額 (百万米ドル)	41,851	44,507	44,481	41,024	41,907	43,455	42,158	-
輸出伸び率 (y/y, %)	▲ 6.9	▲ 4.8	▲ 1.0	▲ 9.8	2.6	5.5	2.3	-
輸入額 (百万米ドル)	26,525	28,733	30,214	26,413	28,323	30,144	28,360	-
輸入伸び率 (y/y, %)	7.5	1.2	12.9	▲ 6.2	5.0	1.5	▲ 5.3	-
株価指数 (MICEX index)	1,514	1,467	1,384	1,400	1,316	1,382	1,384	1,448
短期金利 (Interbank 3m)	7.31	7.41	7.45	7.37	7.39	7.33	7.23	7.25
Rouble/USD	30.21	30.81	31.32	31.36	32.35	32.73	33.01	32.57
Rouble/Euro	40.33	39.93	40.75	40.68	42.65	42.86	43.97	43.51
Rouble/GBP	46.76	46.50	47.95	47.93	50.10	49.72	51.23	51.68
原油価格(ウラル) (USD/バレル)	114.8	106.8	101.9	102.5	102.7	108.6	111.8	-

(注)貿易の値は国際収支から採用。2013年1月より、株価指数はMICEX指数(指数開始日1997年9月22日=100)に変更。

(資料)ロシア中央銀行、ロシア統計局、Macrobond他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。